

## 【2022.12.2 発信 VOL.66】

---

「進藤金日子メールマガジン」は、ホームページにて配信の申し込みをして頂いた方、名刺交換をさせて頂いた方、報告会等に参加頂いた方等に無料で配信させて頂いています。

VOL.66 は、以下の内容でお届けします。

- 今年を振り返って
  - 令和4年度農林水産関係第2次補正予算について
  - 食料・農業・農村基本法の検証について
  - 今臨時国会で成立した法案について
  - 第44回全国土地改良大会沖縄大会の開催について
  - 国土審議会第14回計画部会について
  - 新型コロナウイルス感染症に関する情報について
  - 各種講演を精力的に実施
  - 活動状況(2022.11.1～2022.11.30)
- 

### ■ 今年を振り返って

参議院議員の進藤金日子です。

・年の瀬を迎えて、例年のことではありますが慌ただしく予算や税制の政府案が決定される時期を迎えました。

・今年を振り返ってみると、去る7月の参議院議員選挙で、多くの皆様から多大なるご支援を賜り、お陰様で二期目の当選を果たすことができました。

・二期目においても、食料自給力の向上を基本とした食料安全保障の抜本的強化、再生産可能な価格形成の実現、肥料や資機材高騰への対応、激甚化・頻発化している自然災害への対応、森林・林業政策、水産政策の充実・強化など、山積している課題に対して、これまで以上に現場主義、地域主義に徹し、全力で取り組んでまいります。引き続き、皆様のご理解とご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

・令和4年度第2次補正予算が12月2日に成立しました。これらから令和5年度当初予算の確保に向けて闘いの山場を迎えます。農業農村整備事業、森林整備事業、治山事業、水産基盤整備事業の予算をはじめ、農林水産業、農山漁村の振興に必要な予算をしっかりと確保できるよう全力を尽くして取り組んでまいります。

・皆様におかれては、年末を迎えて何かと慌ただしいと思いますが、新型コロナウイルスやインフルエンザにもご留意の上、くれぐれもご自愛願います。皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

### ■ 令和4年度農林水産関係第2次補正予算について

・12月2日、令和4年度農林水産関係第2次補正予算が成立しました。農林水産関係予算は、総額8,206億円です。令和4年度当初予算が22,777億円であり、今回の補正追加と合わせると30,983億円となります。

・農林水産公共予算については、3,191億円となっていますが、そのうち農業農村整備関係事業予算は1,677億円(食料安全保障強化対策100億円、TPP対策760億円、国土強靱化対策817億円)、森林整備事業439億円(森林整備164億円、TPP対策275億円)、治山事業256億円、水産基盤整備事業270億円(国土強靱化対策230億円、TPP対策40億円)となっています。

※詳細は、以下のアドレスからご覧下さい(農林水産省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r4hosei.html>

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/R4hosei.html>

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/budget/index.html>

#### ■ 食料・農業・農村基本法の検証について

・農林水産省は、食料・農業・農村政策審議会基本法検証部会を、11月2日(第2回)、11月11日(第3回)、11月25日(第4回)に開催し、「食料・農業・農村基本法の検証・見直し検討について」の審議を行いました。

※詳細は以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/kensho/index.html>

・自由民主党では、11月30日、「食料安全保障強化政策大綱」の策定と食料・農業・農村基本法の見直しに向けた提言」を取りまとめ、今後、政府に申し入れすることとなっています。

・この提言では、Ⅰ.「食料安全保障強化政策大綱」(仮称)の策定、Ⅱ.食料・農業・農村基本法の見直しに向けた論点(1.食料安全保障の在り方、2.食料の安定供給の確保、3.農業の持続的な発展、4.農村の振興、5.みどりの食料システム戦略による環境負荷低減に向けた取組強化、6.多面的機能の発揮、7.関係団体等の役割)から構成されています。

・この中には、食料自給力を含め食料安全保障の強化を評価する指標の検討とともに、ほ場整備や農業水利施設等の保全管理、防災・減災、国土強靱化対策の強化などが盛り込まれています。また、農村の振興には、農村地域のコミュニティーの維持、関係人口の確保、多様な人材の農村への定住・移住の促進、中山間地域対策、鳥獣害対策、農福連携、農泊などが位置付けられています。

#### ■ 今臨時国会で成立した法案について

・今臨時国会で、地方競馬への支援措置の拡充、馬産地への支援措置の恒久化、競馬に対する国民の信頼を確保するための措置の充実などを内容とする「競馬法の一部を改正する法律案」が11月11日の参議院本会議で可決・成立しました。

※詳細は以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/law/bill/210/index.html>

#### ■ 第44回全国土地改良大会沖縄大会の開催について

・11月22日、第44回全国土地改良大会沖縄大会が沖縄県沖縄市で開催されました。

・「水土里(みどり)の拓(ひら)くみるく世(ゆ)を鳴らしとうゆまし守禮(しゅれい)の

邦から」(※)を大会スローガンに、全国の土地改良関係者、約2,300名が一堂に会し、古謝景春沖縄県水土里ネット会長の開会挨拶で大会が始まりました。

・二階俊博全国水土里ネット会長からは「全国の農業を守るため、農業関係者を支えることを確かめ合う、沖縄大会にしたい」と挨拶があり、その後、沖縄県玉城デニー知事、勝俣孝明農林水産副大臣、西銘恒三郎衆議院議員、その他の方々からご挨拶がありました。

・私は、国会の都合によりやむを得ず大会を欠席せざるを得なくなり、ビデオメッセージによりご挨拶いたしました。会場でお会いすることを約束した方々をはじめ多くの皆様にお詫び申し上げます。

・熱気に溢れたエネルギッシュな大会であったとお聞きしました。このエネルギーを農業農村の振興と土地改良予算の確保に繋げていきましょう。

(※)大会スローガン：「水土里(土地改良)は、農地や水源を整備して地域や国を豊かにし平和な世の中をつくります。この水土里の素晴らしさを守禮の邦、沖縄から発信し、広く世界へ届けよう!!」

#### ■ 国土審議会第14回計画部会について

・11月17日、国土交通省において、国土審議会第14回計画部会が開催されました。

・国土の刷新に向けた重点テーマについて、1)デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成について、2)人口減少下の国土利用・管理について、議論が行われました。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(国土交通省ホームページ)。

[https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s103\\_keikaku03.html](https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s103_keikaku03.html)

#### ■ 新型コロナウイルス感染症に関する情報について

※新型コロナウイルスに関する情報については、以下のアドレスから参照願います。

なお、最新の情報を入手するよう留意願います。

(首相官邸ホームページ)

<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

(内閣官房ホームページ)

<https://corona.go.jp/>

(厚生労働省ホームページ)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

(農林水産省ホームページ)

[https://www.maff.go.jp/j/saigai/n\\_coronavirus/index.html](https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html)

#### ■ 各種講演を精力的に実施

・11月5日 岩手県花巻市で開催された『「中山間地域の活性化」と「ほ場整備事業」』の会合において、「持続可能な農業と農村の形成に向けて」と題して、食料安全保障の重要性と中山間地域振興の重要性について講演を行い、農地整備事業に関する質問やRMOに対する期待と実務の困難性などの意見を伺いました。

・11月7日 群馬県前橋市で開催の「群馬県土地改良区等役職員研修会」において、「日本の食料を考える」と題して、食料安全保障の重要性と最近の農政をめぐる情勢について講演を

行いました。

・11月11日 愛媛県令和4年度土地改良区役職員研修会に、リモートで「日本の食料を考える」と題して、食料安全保障強化の必要性、水田政策の今後の方向性などについて講演を行いました。

・11月12日 埼玉県鴻巣市で開催の「埼玉の食を考えるセミナー」において、「日本の食料を考える」と題して、食料安全保障強化の必要性とともに、米、麦、大豆、野菜、畜産の現状と課題、今後の方向性について講演を行いました。

・11月17日 岩手県農業土木技術協議会技術研修会に、リモートで「日本の食料と水田農業を考える」と題して、講演を行いました。

=====